

学校だより
「まんだ」
No.17

自他を大事にする子供 学び続ける子供 共に未来を切り拓く子供



認める力

やりぬく力

表現する力

あけましておめでとうございます

保護者の皆様、地域の皆様、新年、明けましておめでとうございます。

さて、1月12日（月）に、万田地区、万田中央地区のどんどやがありました。厄を払い、無病息災を願い行われるどんどやですが、私が住んでいる玉名では行われていないため、我が家のしめ縄を持ってきて、一緒に焼いてもらいました。

「みんなが健康でありますように！」

健康を願うのは学校も同じで、先日の「ほけんだより」には、「笑う門には福来る」と題して、人は笑うと健康にもよいという記事が載っていました。大笑いしなくとも、笑顔で過ごしていると、免疫力が上がり、ストレスが緩和され、自律神経が整い、健康になるとのこと。おまけに抗酸化力もアップして、老化を遅らせてくれるかも！と。

どんどやで子供たちやその保護者、地域の方々に会うと、「新年、明けましておめでとうございます。」と笑顔で挨拶します。中には、「ほら、校長先生に挨拶せんね。」と促されて、照れ笑いをしながら「おめでとうございます。」という子供もいます。そんな子供を見て、保護者の方々も笑顔です。どんどやが笑顔を演出しているのかもしれません。

学校も、笑顔の絶えない場所にしたいと思います。本年もよろしくお願いします。



持久走の練習が始まりました 1月31日（土）の持久走大会に向け、冬の風物詩、持久走の練習が始まりました。運動場をスタートし、中庭を通過して駐車場に続く坂道を下って上って運動場に戻るルートを学年に応じて周回します。人目がなく、つい歩いてしまいそうな中庭には、先生方が立っていて、「ほら頑張れ頑張れと」優しく励まします。昔は「歩いた奴は、もう一周走れ！」などと理不尽なことを言われていましたが、最近の体育では、罰よりも励ます方が多いようです。それでも、中には泣きながら走っている子がいます。転んだわけではなく、きつくて泣いているのです。それでも走っているから偉いです。汗と涙と鼻水が光る持久走。31日の持久走大会では、たくさんの応援をお願いします。

冬休み明け集会の話～トラブル発生～

前号の「給食集会の話」に引き続き、今号は「冬休み明け集会の話」をお届けします。

1月7日（水）に冬休み明け集会をオンラインで行いました。給食集会のときの放送による集会とは違い、zoom（ズーム）というソフトを使って、映像を各教室に配信しながら「校長先生の話」をしました。話の内容は、学校教育目標「自他を大事にする子供 学び続ける子供 共に未来を切り拓く子供」について、もう一度考えてみましょうという内容でした。

児童会執行部と教頭先生は、音楽室からタブレットを通して集会の司会進行を配信し、私は校長室からパソコンを通して「校長先生の話」をし、子供たちは各教室の電子黒板でその放送を視聴するんです。今どきの学校は、こんなことは当たり前でできること。私も学校教育目標について、パソコンで資料を示しながら颯爽と話をしているところで、zoomの無料利用時間が過ぎ、突然、映像も音声も切れてしまいました。ICTには、「校長先生が気持ちよくしゃべりよんなはるけん、もう少し待とうか！」という忖度はなく、容赦はありません。仕方なく、話の続きは放送室に出向いて、校内放送で行いました。このちぐはぐ感と滑稽さが、私は嫌いではありません。人間の都合で利用しているはずのICTが、いつのまにかICTの都合に人間が合わさなければならないことがあります。意外にも、ICTが我々の人間性を試してくるのです